

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 ヤマトマテリアル株式会社

コード番号 7620 URL <http://www.yamato-material.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森川 香

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 松崎 一夫

TEL 03-5639-3085

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,112	6.0	660	49.8	646	42.4	247	15.4
23年3月期第3四半期	8,599	△1.2	440	9.3	453	10.0	214	△16.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	66.40	—
23年3月期第3四半期	57.56	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第3四半期	7,992		3,447		43.1	
23年3月期	7,200		3,252		45.2	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,447百万円 23年3月期 3,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,800	6.9	715	44.4	725	40.8	320	38.5	86.00

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	3,750,000 株	23年3月期	3,750,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	29,778 株	23年3月期	28,991 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	3,720,910 株	23年3月期3Q	3,721,009 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている内容で歴史的事実でないものは、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は主要市場の経済状況や為替相場の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による影響が続く中、タイ洪水被害なども生産活動を直撃し、さらに、欧州債務問題の拡大に伴う金融情勢の混乱、米国経済の停滞など、世界経済の減速懸念の深刻化も加わり、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

そのようななか当社では、ヤマトマテリアル第2次中期経営計画として、安定した収益を持続的に確保できる体制の強化に向けた3ヵ年の取り組みを昨年度から進めております。「マテリアルイノベーション」として、マーケットの革新、商材の革新、組織・人材の革新を継続して推し進め、持続的な成長の実現を目指すとともに、次世代へ繋ぐ体制の構築と利益成長体質の強化に取り組んでおります。

容器事業におきましては、安定した収益基盤を持ち得意分野である食品関連に加え、化粧品、生活関連用品など非食品分野においてももしっかりとした実績を築くべく、オリジナル新商品の開発・販売などを中心に積極的な取り組みを進めてまいります。

エレクトロニクス事業におきましては、オプトデバイス関連やパワーデバイス（IGBT）関連など需要が拡大する分野を中心に取り組みを強化し、環境・エネルギー分野での新市場開拓を進めてまいります。

当第3四半期累計期間における業績については、原発事故後の放射能汚染に対応する意識の高まりとともに飲料水関連の需要が大幅に増加したことなどもあり、売上高は91億12百万円（前年同期比6.0%増）となり、営業利益は6億60百万円（同49.8%増）、経常利益は6億46百万円（同42.4%増）を計上いたしました。また、東日本硝子業厚生年金基金からの脱退等に伴い特別損失1億60百万円の計上がありましたが、四半期純利益は2億47百万円（同15.4%増）となりました。

セグメント別では、容器事業は、前述の水関連の特需的な売上もあったことから好調に推移し、78億65百万円（前年同期比10.1%増）の売上高となりました。エレクトロニクス事業は、ソケット、プラスチック成型品、電子部品等が堅調に推移したものの、震災の影響もあり設備関連が少なかったことから、売上高は12億46百万円（同14.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は79億92百万円と前事業年度末に比べ、7億92百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2億78百万円、受取手形及び売掛金が3億68百万円、商品及び製品が37百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

また、負債は45億45百万円と前事業年度末に比べ、5億97百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が7億60百万円増加し、未払法人税等が1億6百万円、短期借入金が60百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産については、34億47百万円と前事業年度末に比べて1億94百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金2億円が増加したこと等によるものです。結果として、自己資本比率は43.1%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、業績は概ね順調に進捗しており、平成23年10月21日付第2四半期決算短信における開示値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,607,627	3,886,039
受取手形及び売掛金	2,596,600	2,965,143
商品及び製品	123,081	160,860
原材料及び貯蔵品	5,109	5,242
その他	172,828	326,674
貸倒引当金	△10,059	△6,283
流動資産合計	6,495,188	7,337,677
固定資産		
有形固定資産	134,366	131,096
無形固定資産	12,634	8,526
投資その他の資産	558,230	515,486
固定資産合計	705,231	655,110
資産合計	7,200,419	7,992,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,836,348	3,596,832
短期借入金	360,000	300,000
未払法人税等	231,792	127,763
賞与引当金	79,188	38,891
役員賞与引当金	11,750	12,382
その他	87,837	128,178
流動負債合計	3,606,916	4,204,048
固定負債		
退職給付引当金	244,992	259,707
役員退職慰労引当金	90,717	77,123
再評価に係る繰延税金負債	5,127	4,491
固定負債合計	340,838	341,321
負債合計	3,947,754	4,545,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,430	334,430
資本剰余金	279,820	279,820
利益剰余金	2,655,016	2,855,574
自己株式	△11,519	△11,978
株主資本合計	3,257,746	3,457,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,555	△18,538
土地再評価差額金	7,474	8,110
評価・換算差額等合計	△5,081	△10,428
純資産合計	3,252,665	3,447,417
負債純資産合計	7,200,419	7,992,787

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,599,794	9,112,206
売上原価	7,224,277	7,498,846
売上総利益	1,375,516	1,613,360
販売費及び一般管理費	934,580	952,773
営業利益	440,935	660,587
営業外収益		
受取利息	3,777	1,788
受取配当金	3,853	4,858
受取賃貸料	7,962	3,538
為替差益	4,575	1,765
貸倒引当金戻入額	—	3,884
その他	5,991	5,356
営業外収益合計	26,160	21,192
営業外費用		
支払利息	3,916	3,820
賃貸収入原価	7,096	3,130
公開買付関連費用	—	25,953
その他	2,483	2,787
営業外費用合計	13,496	35,692
経常利益	453,599	646,086
特別利益		
固定資産売却益	—	9,509
特別利益合計	—	9,509
特別損失		
投資有価証券評価損	46,296	—
保険解約損	720	1,075
厚生年金基金脱退損失	—	160,873
特別損失合計	47,017	161,948
税引前四半期純利益	406,581	493,647
法人税、住民税及び事業税	192,394	246,576
四半期純利益	214,187	247,070

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。